

第31回地域バス交通活性化セミナー 路線バス等の維持を目指した多様な分野からの運転者確保

日 時：令和7年12月8日（月） 13:30～16:00（13:00 受付開始）
会 場：札幌エルプラザ ホール（札幌市北区北8条西3丁目 札幌エルプラザ3階）
主 催：国土交通省北海道運輸局、公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団
後 援：一般社団法人北海道バス協会
定 員：会場 200 名、オンライン 300 名（定員になり次第締め切ります）
参 加 費：無料
参加申込：下記 URL もしくは右のQRコードを読み込んでお申し込みください
(https://www.ecomo.or.jp/environment/bus/31th_seminar.html)



【プログラム】

- 13:30 開会挨拶 国土交通省 北海道運輸局長 井上 健二氏
公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団 理事長 若林 陽介氏
- 13:40 講 演 「外国人運転手も含めた運転手確保例（仮）」
リッツMC 株式会社 代表取締役社長 中嶋 美恵氏
- 14:20 事例紹介 「東急バスによる運転手確保策（仮）」
東急バス株式会社
- 14:30 事例紹介 「障害者ドライバーの活用（仮）」
日軽北海道株式会社 サービス事業部 運輸課 課長 松原 浩二氏
- 14:40 休憩
- 14:50 パネルディスカッション 「今後の運転者確保について」
パネリスト：札幌市 まちづくり政策局総合交通計画部 都市交通課長 岡 顕一氏
株式会社じょうてつ 自動車事業部運輸グループ運輸チーム 課長 松田 信弘氏
リッツMC 株式会社 代表取締役社長 中嶋 美恵氏
東急バス株式会社
- コーディネーター：福島大学 経済経営学類 教授/
前橋工科大学 学術研究院 特任教授 吉田 樹氏
- 16:00 閉会



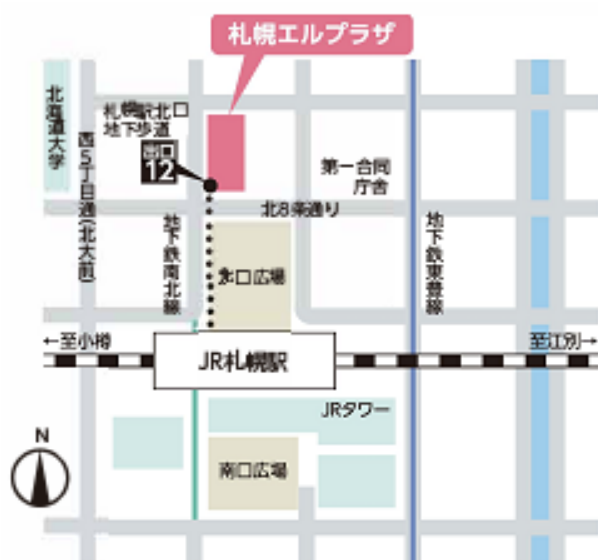
【開催趣旨】

モータリゼーションの進展により路線バス業界は経営が苦しい状況でありましたが、新型コロナウイルスによるさらなる乗客の減少により、経営状況がさらに悪化し、さらには2024年の労働環境の改善などにより、運転者不足の解消は現在重要な課題となっています。

そのような中、札幌市とじょうてつにおいて2025年3月26日に「路線バス運転手の外国人材受入れに関する連携協定」が結ばれ、今後の動向が注目される協定となっています。

そこで本セミナーでは、外国人だけでなく障害者や女性を含め、多様な分野からの運転者確保方策について学び、今後のバス運転者確保方策の検討を行います。

会場アクセス（札幌エルプラザ ホール）



【会場までのアクセス】

■ アクセス

専用の駐車場・駐輪場はございません。またセミナーの趣旨から公共交通機関をご利用ください

- ・ JR 札幌駅北口より徒歩 3 分
 - ・ 地下鉄南北線さっぽろ駅より徒歩 7 分
 - ・ 地下鉄東豊線さっぽろ駅より徒歩 10 分
- (札幌 駅北口地下歩道 12 番出口横から建物の中まで直通)

問合せ先：公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団企画調査部（担当：岡本、田中）
TEL：03-5844-6268 E-Mail：bus [at] ecomo.or.jp※送信時は [at] を@に変えてください